

霞ヶ浦にすむおもな野鳥



繁殖期 春・夏



- 留** 留鳥 : 同じ地域に1年中生息しており季節的に大きく移動しない。
- 夏** 夏鳥 : 主に東南アジアから春に渡来し、子育てをした後、再び越冬地に帰る。
- 冬** 冬鳥 : ロシアや中国東北部などから秋に渡来し、冬を越した後、再び繁殖地に帰る。
- 旅** 旅鳥 : 渡りの途中、春・秋に定期的に姿を見せる。

水面



留 カイツブリ【カイツブリ科】
全長 25-29cm。主に動物食性で、魚類、昆虫、甲殻類、貝類などを食べる。



留 オオバン【クイナ科】
全長 32-39cm。植物食傾向の強い雑食性で主に水生植物を食べるが、魚類、昆虫、貝類も食べる。



留 バン【クイナ科】
全長約 35cm。雑食性で、昆虫、甲殻類、植物の種などを食べる。



夏 コジュリン【カモ科】
全長約 15cm。雑食性で昆虫類、節足動物、果実、種子等を食べる。生息数が減っている。

湿地 ヨシ帯



夏 オオヨシキリ【シギ科】
全長約 18cm。動物食性で、昆虫類、節足動物等を食べる。



夏 ヨシゴイ【サギ科】
全長 31-38cm。動物食性で、魚類、両生類、昆虫、甲殻類などを食べる。

湖岸 砂泥地や低茎草本地



留 ハクセキレイ【セキレイ科】
全長約 21cm。雑食性で、昆虫類やクモ、ミミズなどを主に捕えて食べる。



留 イソシギ【シギ科】
全長 20cm。動物食性で、主に昆虫を食べるが、甲殻類、軟体動物も食べる。

河畔林



留 ヒバリ【ヒバリ科】
全長約 17cm。植物食傾向の強い雑食性で主に種子を食べるが、昆虫なども食べる。



留 ホオジロ【ホオジロ科】
全長約 17cm。雑食性で、繁殖期には昆虫類、秋から冬には植物の種子を食べる。



留 カワラヒワ【アトリ科】
全長 14cm。植物の種子を主に食べる。



留 オオタカ【タカ科】
全長オス約 50cm、メス約 60cm。中小型の鳥類や小型哺乳類を食べる。

水田・ハス田



留 カルガモ【カモ科】
全長 53-63cm。植物食傾向の強い雑食性で、種子、水生植物、昆虫などを食べる。



留 キジ【キジ科】
全長オス約 81cm、メス約 58cm。主に種子、芽、葉を食べるが、昆虫やクモも食べる。



留 ゴイサギ【サギ科】
全長 58-65cm。動物食性で、両生類、魚類、昆虫、クモ、甲殻類などを食べる。



夏 チュウサギ【サギ科】
全長約 68cm。主に魚類やカエルなどを食べる。非繁殖期は単独行動する。



留 セッカ【セッカ科】
全長約 13cmでスズメより小さい。動物食性で昆虫やクモを食べる。



旅 ムナグロ【チドリ科】
全長約 24cm。主に動物食性で、昆虫類や甲殻類などを食べる。

非繁殖期
秋・冬

※プリントの表裏で季節が変わります。

水面



冬 カンムリカイツブリ 【カイツブリ科】 全長約 56cm。陸に上がることはほとんどない。動物食性で魚類、両生類、水生昆虫等を食べる。



冬 コガモ 【カモ科】 全長約 38cm。オスの繁殖羽は頭が栗色で後頭が暗緑色。メスは全体に褐色。植物食性で藻や水草等を食べる。



冬 マガモ 【カモ科】 全長約 59cm。オスの繁殖羽は頭が緑色でくちばしが黄色。植物食傾向の強い雑食性で葉や茎、種子、貝等を食べる。



冬 ハシビロガモ 【カモ科】 全長 43-56cm。繁殖期のオスは頭部が光沢のある暗緑色。植物食傾向の強い雑食性。



冬 ユリカモメ 【カモメ科】 全長約 40 cm。魚や甲殻類を食べるが、環境によっては昆虫や種子等を食べる。



留 ミサゴ 【ミサゴ科】 全長 54-64cm。肉食性で魚類を食べるが、爬虫類、鳥類、貝類を食べることもある。

湿地 ヨシ帯



冬 オオジュリン 【ホオジロ科】 全長約 16cm。雑食性で、種子、昆虫類等を食べる。オスの冬羽の頭部が赤褐色。



冬 チュウヒ 【タカ科】 全長オス約 48cm、メス約 58cm。肉食性。魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類等を食べる。

河畔林



冬 カシラダカ 【ホオジロ科】 全長が約 15 cm。昆虫類や種子を食べる。



冬 アオジ 【ホオジロ科】 全長 14-16 cm。植物の種子や昆虫類を食べる。

水田・ハス田



冬 タゲリ 【チドリ科】 全長約 32 cm。動物食性で、昆虫類、節足動物、ミミズ等を食べる。



冬 ハマシギ 【シギ科】 全長約 21cm。肉食性で、貝類、甲殻類、ゴカイ、昆虫類等を食べる。



冬 タシギ 【シギ科】 全長約 27cm。動物食傾向の強い雑食性で昆虫類、節足動物、甲殻類、種子等を食べる。



冬 タヒバリ 【セキレイ科】 全長約 16cm。種子や昆虫類等を食べる。

ハシビロガモと水質

プランクトンを餌とするハシビロガモは、富栄養化した湖沼に多いという調査結果が報告されています。水質の悪化によりアオコが大発生していた頃は、霞ヶ浦にも数多く飛来していましたが、水質が改善してくると少なくなりました。

冬 オオヒシクイ 【カモ科】 稲敷市稲波[稲波干拓地]

11月になるとオオヒシクイが飛来する。ガンの一種で、国の天然記念物に指定されている。



名前はヒシの実を食べることに由来する。全長約 90cm 羽を広げると 180cm 以上にもなる大型の鳥で、くちばしの先がオレンジ色になっているのが特徴である。

冬 ハクチョウ 【カモ科】 潮来市水原地先[北浦湖岸]

11月になるとハクチョウが飛来する。オオハクチョウは全長 140-165cm、羽を広げると、218-243cm にもなる。コハクチョウは全長 115-150cm、羽を広げると 180-225cm にもなる。

